EVO S ブックシェルフスピーカー

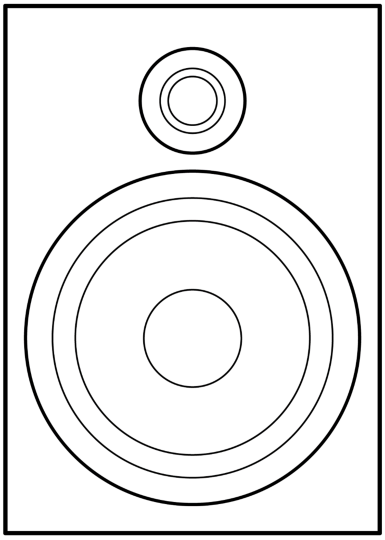
Manual Generated: 19/11/2024 - 11:35

Table of Contents

EVO S ブックシェルフスピーカー 3
はじめに 3
EVO Sに含まれるもの 4
フロントパネル 5
リアパネル 6
インストール手順 7
技術仕様 8
よくある質問 9
トラブルシューティング 10

EVO S ブックシェルフスピーカー

Last updated: April 23, 2024 01:14. Revision #12626



ユーザーマニュアル

はじめに

Last updated: January 19, 2023 01:59. Revision #10422

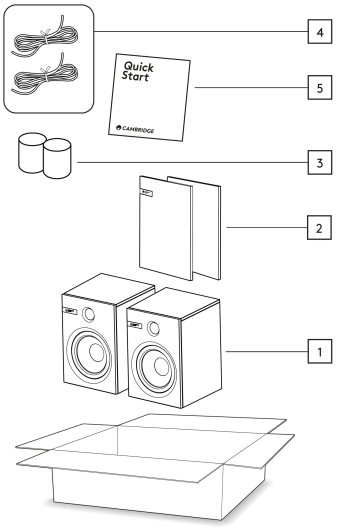
Cambridge Audio EVO S ブックシェルフスピーカーをお買い上げいただきありがとうございます。スピーカーの視聴を長年お楽しみいただけることを願っております。スピーカーは、接続されているシステムに比例した品質となります。アンプやケーブルを妥協なさらないようお願いいたします。もちろん、スピーカーと同じ厳格な基準に合わせて設計されたCambridge Audioシリーズのアンプを特に推奨しております。販売店は、システムがその潜在能力を最大限に発揮できるように、優れた品質のスピーカーケーブルを提供することもできます。

このマニュアルをお読みいただきありがとうございます。今後の参考のために保管しておくことをお勧めします。

© Copyright Cambridge Audio Ltd

新製品、ソフトウェアアップデート、キャンペーンなどに関するニュースの受信をご希望の方は、以下でご登録ください:

http://www.cambridgeaudio.com/register



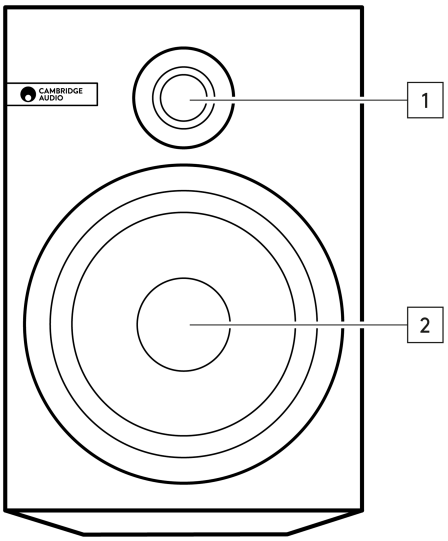
EVO Sに含まれるもの

Last updated: January 19, 2023 01:59. Revision #10423

1. EVO Sブックシェルフスピーカー×2
2. 磁気スピーカーグリル×2
3. ベースプラグ×2
4. 3mスピーカーケーブル(終端)×2
5. クイックスタートガイド

フロントパネル

Last updated: January 19, 2023 01:59. Revision #10424

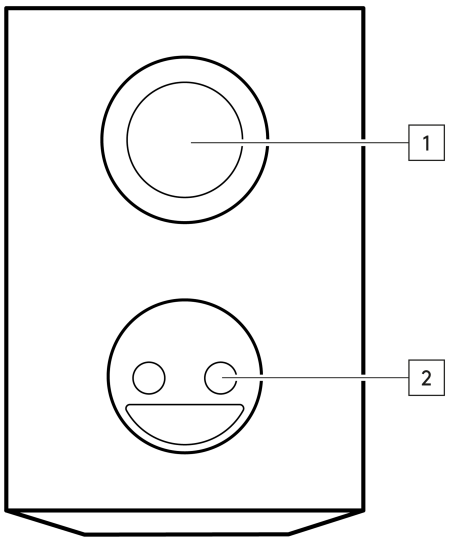


1. 1インチ(25mm)シルク ドームツイーター

2. 6.5インチ(165mm)陽極酸化アルミニウムミッド/ベースドライバー。

リアパネル

Last updated: January 19, 2023 01:59. Revision #10425



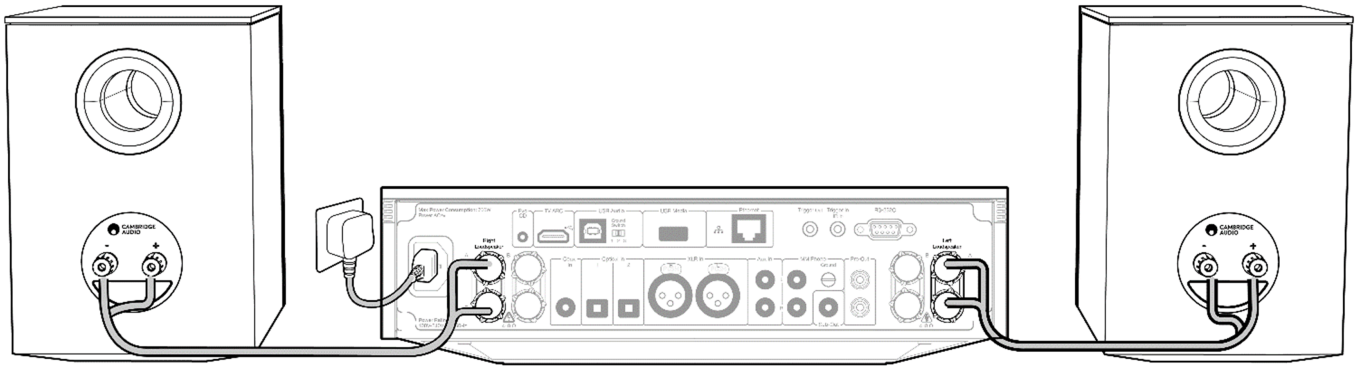
1.リアベースポート

2. +/-スピーカー接続端子。

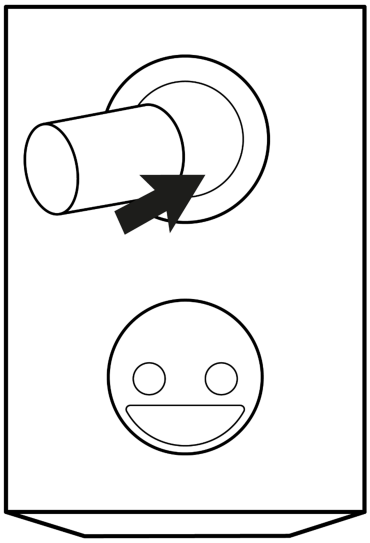
インストール手順

Last updated: January 19, 2023 02:00. Revision #10426

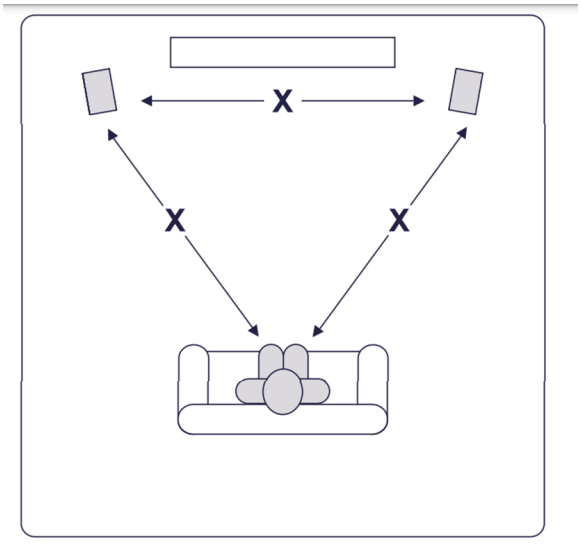
1. まず、高品質のスピーカーケーブルを使用して、EVO Sスタンドマウントスピーカーをアンプのスピーカー端子に接続します。各接続の極性が一致するように細心の注意を払ってください。



2. 机の上や壁際に置く場合は、付属の発泡スチロール製のベースチューニングバングを使用すると効果的です。これらを各スピーカーのリアポートに配置して、低周波出力を減らすことができます。



3. 最後に、設置をするときは、スピーカーと視聴位置の距離を等しくすることをお勧めします。ただし、空間に適した解決策が見つかるまで、実験し続けることをお勧めします。



技術仕様

Last updated: January 19, 2023 02:00. Revision #10427

感度 (SPL)
88dB

周波数特性
50Hz - 40kHz

インピーダンス
8Ω

ドライバー
6.5インチ(165mm)陽極酸化アルミニウムミッド/ベースドライバー×1

1インチ(25mm)シルクドームツイーター×1

クロスオーバー
2ウェイ

推奨アンプ出力
25 □ 200W

移植
1 リア

スピーカー寸法 (高さ x 幅 x 奥行)
200 x 284 x 216mm

重量
7.1kg (16.9lbs)

よくある質問

Last updated: January 19, 2023 02:00. Revision #10428

スピーカー感度とはどういう意味ですか?

スピーカー感度とは、アンプから1ワットの電力を供給されたとき、スピーカーが1メートルで出すレベルのことです。これは、特定の入力に基づいて、スピーカーが音響エネルギーをどれだけうまく生成するかを説明する方法です。レベルはdB SPLで測定されます。これは「音圧レベル」の略語で、音は基本的に気圧の変動であるため、SPLと表示されている場合は、「現実世界での音」を意味します。例えば、87dBの感度のスピーカーと90dBの感度のスピーカーがあるとします。3dB増すごとにパワーが2倍になるので、90dBのスピーカーの方がかなり大きくなります。

クロスオーバーとは何ですか?

ほとんどのスピーカーには複数のドライバーがあります。ドライバはトランスデューサと呼ばれることもあり、あるタイプのエネルギーを別のタイプのエネルギー(この場合は電気エネルギーを音響エネルギー)に変換するデバイスです。ラウドスピーカーでは、低音用、中音用、高音用と複数のドライバーが必要な場合があります。この後者のドライバーは、しばしばツイーターと呼ばれます。この配置の利点を得るには、信号を異なる周波数成分に分割する必要があります。これを行う回路はクロスオーバーと呼ばれます。

インピーダンスとは何ですか?

スピーカーやアンプについて調べると、インピーダンスが言及されることがよくあります。インピーダンスは基本的に、特定の周波数で測定された抵抗であり、オーム(Ω)の値として与えられ、スピーカーによってアンプにかかる「負荷」を決定するため、オーディオシステムをセットアップするときに考慮することが非常に重要です。

たとえば、8Ωのスピーカ負荷に100Wを供給する定格のアンプがあるとします。インピーダンスが4Ωのスピーカを同じアンプで使うと、アンプの負荷が軽減され、インピーダンスが半分になると必要な電力が2倍になるため、アンプは200Wを供給する必要があります。

このような状況では、アンプが低インピーダンスに必要な電力を供給できない場合オーバーヒートし、アンプとスピーカーが損傷する可能性があります。

このため、アンプの仕様と推奨されるインピーダンス定格に注意を払うことが重要です。

トラブルシューティング

Last updated: January 19, 2023 02:00. Revision #10429

片方または両方のチャンネルからサウンドが聞こえない
 アンプの電源が入っていることを確認してください。
 アンプで正しい入力ソースが選択されていることを確認してください。
 アンプとラウドスピーカーの接続が安定していることを確認してください。
 ソース機器とアンプの接続がしっかりとできていることを確認してください。
スピーカー接続の極性を確認してください。
アンプの音声コントロールが正しく設定されていることを確認してください。

音が歪んでいる、または不安定
 アンプとラウドスピーカーの接続が安定していることを確認してください。
スピーカー接続の極性を確認してください。
 ソース機器とアンプの接続がしっかりとできていることを確認してください。